

平成23年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ  
 コード番号 9439 URL <http://mhgroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

(氏名) 佐藤 文彦  
 (氏名) 田邊 芳彦

TEL 03-5411-7222

配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第2四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第2四半期	939	2.5	39	31.7	44	105.9	17	△79.9
22年6月期第2四半期	916	△30.4	30	—	21	—	89	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第2四半期	161.58	—
22年6月期第2四半期	788.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
23年6月期第2四半期	1,269	—	537	42.3	4,816.60	
22年6月期	1,289	—	506	39.2	4,584.46	

(参考) 自己資本 23年6月期第2四半期 536百万円 22年6月期 506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
23年6月期	—	0.00	—	—	—
23年6月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

平成22年6月期期末配当金の内訳  
 設立20周年記念配当100円00銭

3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	2,001	13.3	117	62.2	76	—	58	47.4	521.24

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無  
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）  
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年6月期2Q 113,321株 22年6月期 113,321株  
② 期末自己株式数 23年6月期2Q 1,861株 22年6月期 2,961株  
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年6月期2Q 111,089株 22年6月期2Q 113,160株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、四半期決算短信「連結業績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) セグメント情報 .....	8
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアの新興国を中心とする経済成長やエコカー補助金や家電のエコポイント制度など政府の経済政策などにより、収益基盤が回復基調にあるものの、円高や株安、高い失業率、大卒新卒者の就職内定率が過去最低水準となるなど、デフレ状況は依然として続いており、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループでは、「モッズ・ヘア」ブランドの統制を図るため、優秀な人材を育て上げる教育システム、ホスピタリティを向上するためのコミュニケーション能力の開発、価格なども含めたサービスなどの見直しから改善をまいりました。

以上の結果、売上高は当初の予想通り順調に推移したものの、資産除去債務に関する会計基準の適用（これによる特別損失16,757千円）及び株主優待などの費用、投資有価証券評価損を含め、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高939,249千円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益39,574千円（前年同四半期比31.7%増）、経常利益44,026千円（前年同四半期比105.9%増）、四半期純利益17,949千円（前年同四半期比79.9%減）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

#### (直営サロン運営事業)

日本全国に展開するBS（ブランドシェア）サロン（FCサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営15店舗、準直営（業務委託方式）3店舗の計18店舗を展開しております。

直営サロン運営事業では、平成22年10月22日、「モッズ・ヘア」の本場であるパリ・シャンゼリゼ通りの「モッズ・ヘア」サロンと肩を並べるグローバルフラッグシップサロンが東京・銀座四丁目交差点、サッポロ銀座ビルに「モッズ・ヘア銀座四丁目店」としてをオープンいたしました。最高のロケーションで最高のサービスをお届けしております。

また、11月15日、既存店である相模大野店は、「モッズ・ヘアビューティ相模大野店」と生まれ変わりました。日本初上陸となるモッズ・ヘアビューティでは、「モッズ・ヘア」ブランドのコンセプトはそのままに、本格的な癒しのメニューを提案するトータルビューティサロンとなっており、ラグジュアリーな個室に至福のひと時を体感できる新形態のサロンとなっております。

今後の新規オープンとしましては、平成23年3月に二子玉川駅前の商業施設「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」に二子玉川店を予定しております。

なお、第1四半期連結会計期間よりセグメント情報に合わせ、短時間、低コストでメイクアップ、パーティースタイルのみを提供するモッズ・ヘアパルティ運営事業及び当社が設備投資をし、運営のみを委託する準直営（業務委託方式）サロンは、直営サロン運営事業に集約いたしました。

#### (BSサロン運営事業)

現在、BSサロンは国内78店舗、韓国19店舗、台湾2店舗の計99店舗となっております。

当第2四半期会計期間における新規オープン、既存店舗の移転及びリニューアルについては、12月に韓国で1店舗、国内で豊洲店の1店舗と合計2店舗の新規オープンを実施いたしました。

#### (ヘアメイク事業)

当社は「モッズ・ヘア」の原点ともなるフランス・パリのスタジオワーク専門ヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」をはじめ世界4大コレクション及び「東京コレクション」への参加や、CM・ファッション雑誌などを年間3,000ページ以上手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。彼らの作品は「モッズ・ヘア」をブランディングするうえでクリエイションの柱であり、サロンスタイルなどでのアイデアソースとしても重要な役目を担っております。

#### (その他事業)

当社グループでは、国内90店舗以上を擁する「モッズ・ヘア」サロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化し、100%子会社である㈱ライトスタッフを通じて、一般のサロンに提供するサービスとして、クレジット手数料軽減サービスなどの美容室支援事業を行っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の財政状態の分析は次のとおりであります。

財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産については、前連結会計年度末に比べ19,726千円減少し、1,269,709千円となりました。主な要因としましては、新規オープンによる設備の取得などによる有形固定資産の増加72,193千円、投資事業組合の出資金の分配などによる投資有価証券の減少47,535千円などによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債については、前連結会計年度末に比べ50,178千円減少し、732,679千円となりました。主な要因としましては、借入金の返済による1年内返済予定の長期借入金の減少55,156千円などによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産については、前連結会計年度末に比べ30,452千円増加し、537,029千円となりました。要因としましては、自己株式の処分による自己株式の減少15,213千円及び資本剰余金の増加9,653千円、四半期純利益17,949千円及び配当金の支払11,036千円による利益剰余金の増加6,913千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、前連結会計年度より経営資源を集約し、美容室運営事業を中心とした事業展開を図っております。

美容室運営事業については、個人事業者を含め競合が数多く存在する業界であり、より強い競争力が求められます。多様化するお客さまのニーズに応えるため、インターネットなどを活かしたサービス向上プログラムの構築、新技術・新商品の開発、優秀な人材の確保するための雇用環境の整備と確保した人材をより優秀な人材へと育て上げる教育システムの改善などを着実に推し進めると同時に、合理的かつ継続的なコスト削減に取り組み、成長性と収益性を同時に追求してまいります。また、新規オープン、既存店舗の移転及びリニューアルに関しましては、国内外を問わず直営店舗及び準直営店舗ならびにB S店舗について、ブランド力及びコスト、中長期的な収益性の計画などを踏まえたうえで慎重に検討してまいります。

平成23年6月期の連結業績見通しについては、平成23年2月7日公表のとおり、第2四半期連結累計期間を上方修正したものの、通期は依然厳しい経済環境が続くと予想していることから、売上高及び営業損益、経常損益、当期純損益ともに平成22年8月12日公表の数値から変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間において、連結子会社の株式会社アトリエ・エム・エイチは、平成22年7月1日付で連結子会社の株式会社エム・エイチ・パシフィックを吸収合併いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ1,470千円減少し、税金等調整前四半期純利益は18,228千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始により、投資その他の資産の「差入保証金」が18,228千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	219,673	251,513
売掛金	111,567	126,995
商品	50,739	46,714
未収入金	179,632	144,182
繰延税金資産	57,224	47,384
その他	35,098	33,948
貸倒引当金	△9,131	△9,166
流動資産合計	644,803	641,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	413,748	384,567
減価償却累計額	△199,534	△235,695
建物及び構築物(純額)	214,213	148,872
工具、器具及び備品	92,260	84,999
減価償却累計額	△63,580	△61,995
工具、器具及び備品(純額)	28,680	23,004
その他	6,576	4,994
減価償却累計額	△1,261	△855
その他(純額)	5,315	4,139
有形固定資産合計	248,209	176,016
無形固定資産		
のれん	4,388	4,875
その他	141	175
無形固定資産合計	4,529	5,051
投資その他の資産		
投資有価証券	120,756	168,291
長期貸付金	57,543	62,436
差入保証金	242,118	282,523
繰延税金資産	6,024	12,480
破産更生債権等	50,407	50,407
その他	4,837	5,068
貸倒引当金	△109,520	△114,413
投資その他の資産合計	372,166	466,794
固定資産合計	624,905	647,862
資産合計	1,269,709	1,289,435

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	26,778	24,739
1年内返済予定の長期借入金	62,260	117,416
未払金	276,392	193,130
未払費用	37,614	42,957
未払法人税等	3,121	16,608
未払消費税等	6,782	8,089
ポイント引当金	4,627	3,499
その他	30,433	62,825
流動負債合計	448,010	469,266
固定負債		
長期借入金	51,636	55,266
長期未払金	62,879	70,598
受入保証金	167,740	185,240
その他	2,413	2,487
固定負債合計	284,669	313,591
負債合計	732,679	782,857
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	104,614	94,961
利益剰余金	△29,452	△36,365
自己株式	△25,737	△40,950
株主資本合計	549,425	517,645
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,567	△11,704
評価・換算差額等合計	△12,567	△11,704
新株予約権	171	637
純資産合計	537,029	506,577
負債純資産合計	1,269,709	1,289,435

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)
売上高	916,118	939,249
売上原価	663,429	676,588
売上総利益	252,689	262,660
販売費及び一般管理費	222,641	223,085
営業利益	30,047	39,574
営業外収益		
受取利息	250	43
投資事業組合運用益	—	4,286
その他	1,941	2,203
営業外収益合計	2,192	6,534
営業外費用		
支払利息	2,467	1,660
為替差損	322	—
投資事業組合運用損	7,888	—
その他	182	421
営業外費用合計	10,861	2,081
経常利益	21,379	44,026
特別利益		
固定資産売却益	—	1,067
関係会社株式売却益	30,767	—
貸倒引当金戻入額	1,500	35
店舗閉鎖損失戻入額	—	2,000
その他	4,739	465
特別利益合計	37,006	3,567
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	16,757
投資有価証券評価損	—	12,184
特別損失合計	—	28,942
税金等調整前四半期純利益	58,385	18,652
法人税、住民税及び事業税	16,707	3,749
法人税等調整額	△47,572	△3,047
法人税等合計	△30,864	702
少数株主損益調整前四半期純利益	89,250	17,949
四半期純利益	89,250	17,949



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	58,385	18,652
減価償却費	17,304	19,996
のれん償却額	—	487
貸倒引当金の増減額(△は減少)	391	△35
固定資産売却損益(△は益)	—	△1,067
受取利息及び受取配当金	△250	△43
支払利息	2,467	1,660
子会社株式売却損益(△は益)	△30,767	—
売上債権の増減額(△は増加)	7,005	△9,923
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,297	△4,025
仕入債務の増減額(△は減少)	22,484	2,039
投資事業組合運用損益(△は益)	7,888	△4,286
投資有価証券評価損益(△は益)	—	12,184
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△3,699	1,127
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,798	△1,307
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	16,757
その他	△61,659	△19,449
小計	7,455	32,767
利息及び配当金の受取額	250	43
利息の支払額	△2,467	△1,660
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	48,189	14,311
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,428	45,462
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
敷金の回収による収入	36,061	—
差入保証金の差入による支出	—	△6,498
差入保証金の回収による収入	—	28,317
有形固定資産の取得による支出	△3,046	△61,736
有形固定資産の売却による収入	—	1,431
出資金の分配による収入	31,931	20,750
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△21,189	—
貸付金の回収による収入	37,510	—
その他	5	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	81,272	△17,737
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△10,000
長期借入金の返済による支出	△125,000	△58,786
自己株式の取得による支出	△40,950	—
自己株式の処分による収入	—	24,866
割賦債務の返済による支出	—	△4,855
配当金の支払額	—	△10,570
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165,950	△59,345
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△221
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△31,249	△31,840
現金及び現金同等物の期首残高	267,767	251,513
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8,985	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	245,502	219,673

(4) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、美容業に専念しており、美容室「モッズ・ヘア」のアジア9カ国におけるライセンスを所有し、国内の直営サロン運営、国内及びアジア2カ国（韓国、台湾）のBSサロン運営及び「モッズ・ヘア」の原点となるヘアメイク、そして「モッズ・ヘア」のスケールメリットを活かしたクレジット手数料軽減サービスなどを一般のサロンに提供する事業展開をしております。

従って、当社グループは、「直営サロン運営事業」「BSサロン運営事業」「ヘアメイク事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、報告セグメントにおける事業の詳細などについては、P2の1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（1）連結経営成績に関する定性的情報をご参照ください。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年7月1日 至平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	直営サロン 運営事業	BSサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	計				
売上高	646,425	249,468	56,496	952,390	19,598	971,989	△32,740	939,249
セグメント利益	32,282	127,072	5,137	164,492	8,607	173,099	△133,524	39,574

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美容室支援事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△133,524千円には、棚卸資産の調整額△3,324千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△130,199千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。